

高機能版サヤトレ会員限定レポート 『FX 金利裁定取引』



2014年9月30日版

11月11日追記

■はじめに

いつも大変お世話になっております。株式会社サヤトレの増田圭祐です。

今回のレポートは、私が過去にセミナーや書籍などでお伝えしてきたFX(為替)の通貨を異なる証券会社2社に分けて買いと売りの両建て保有を行い、日々スワップ(金利)を受け取り続ける手法の最新情報をまとめさせていただきました。

私がこの手法を初めて発見したのは2009年のことです。

すでに5年ほど経ちますが現在でも特に問題なく優位性を保てており将来的な事は、保障出来ませんが今後も継続出来ると考えております。

2014年9月にこのレポートを執筆しておりますが数年経過すれば各国の政策金利は、変動してまた今とは少し状況も変わるでしょう。

このレポートに書いてある内容の基本的な考え方が理解できれば、投資する通貨対象が変わったとしてもその時々状況に応じた取引が出来ると思います。

またそのような投資家を目指していただきたいと思います。

初めての方は、まずはこのレポートに書かれている内容の優位性やリスクをご理解いただき忠実に再現ください。

そして既実践している方は、優位性はご理解いただいていると思いますのでリスクの部分を再度、意識してお読みいただければ幸いです。

皆様の投資・運用のヒントになれば幸いです。

増田圭祐

■FX(為替)とスワップ(金利)の説明

まずは、簡単にFXとスワップの概念についてご説明させていただきます。

FXとは、外国為替証拠金取引の略であり

日本円と米ドルなど異なった2つの通貨を転換することで利益を狙う投資です。

円高や円安など通貨価値の騰落によって損益が変動します。

FXは、株式の信用取引のように、レバレッジを利かすことで

少額から投資可能であり最大25倍まで利かすことができます。

そして株式の信用取引の空売りと同じように、外貨を売る取引もできます。

そのため為替相場が円高・円安どちらの場合でも利益を得るチャンスがあるのです。

FXのもうひとつ特徴として「スワップ」という概念が存在します。

スワップとは、簡単に言い換えると、「通貨の金利」を意味します。

高金利の通貨を買った場合は、スワップ金利を受け取ることができます。

逆に、高金利通貨で売った場合は、スワップ金利を支払わなければなりません。

そしてこのスワップは、定期預金のように

年に数回、まとめて受け取るのではなく、日々発生します。

高金利通貨の買っている場合、日々、スワップ金利を受け取る事が出来るのです。

日本の円は現在、世界トップクラスの**低金利通貨**です。

よって基本的にどの国の通貨を買ってもスワップ金利を受け取ることが可能です。

【FXのスワップ金利】

- ・低金利通貨売り+高金利通貨買い場合＝スワップを受け取れる(収益)
- ・高金利通貨売り+低金利通貨買い場合＝スワップを支払う(損失)

FXとスワップについてご理解いただけましたでしょうか？

- ・円安と円高による為替の損益構造
- ・通貨間の金利差によるスワップの概念

上記、為替の基礎知識がないとこれから先にご説明する手法についてご理解いただく事は出来ません。

FX は、株式投資を同じくらい身近で簡単に出来る優れた投資対象です。

FX を知っていただくと皆様の投資バリエーションを確実に大きく広げます。

今回のレポートでは、これ以上 FX の基礎的な内容は省かせていただきます。

FX をご存知ない方は、お勧めの FX の入門書をご紹介しますのでご参考にいただければ幸いです。

以下、FX の基礎知識がある事を前提にして
FX 金利裁定取引の概要について解説させていただきます。

■はじめての人の FX 基礎知識&儲けのルール

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4883995321/investars0e1-22/ref=nosim>

■一番売れてる投資の雑誌ザイが作った「FX」入門

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4478008418/investars0e1-22/ref=nosim>

■金利裁定取引の概要

FX 金利裁定取引とは・・・

**異なる FX 会社で同一通貨を買いと売りの両建て保有を行い
日々発生するスワップの差額をプラスの状態にして保有し続ける手法です！**

より詳しく解説してまいります。

一般的にFXで取引される高金利通貨の代表としては
オーストラリアドル・ニュージーランドドル・南アフリカランド

上記3つの通貨が有名です。

その他にもトルコリラやブラジルリアルも高金利通貨ですが
取引出来るFX会社が少ない事や日々のスワップの水準が安定しておりません。

今回のレポートについて内容を完全にご理解いただければ
FX金利裁定取引の応用として上記のようなマイナー通貨でも可能です。

マイナー通貨の場合、日本対応している証券会社では
IG証券が90ペアと断トツで品揃えが多く対応しています。

IG証券で口座を持っていれば90ペアの
スワップやチャートも確認する事が出来るので便利です。

■IG証券

<http://investars.jp/about/igmarkets.html>

今回は、上記メジャーな高金利3通貨の中から
ニュージーランドドル(以下、NZドル)を例にして解説します。

これまでの過去、NZドルよりもオーストラリアドル(以下、豪ドル)の方が
長期的に高金利通貨の代表として一般的に扱われてきました。

過去私がこの手法をセミナーなどでお客様にお伝えしてきた際も豪ドルの方が
金利も高く取引しやすかったので豪ドルを中心に解説を行ってきました。

**しかし2013年以降は、オーストラリアの利下げの影響から
NZドルの方が政策金利は高くなり、少し状況が変わりつつございます。**

【世界の政策金利一覧】 2014年9月

- ・オーストラリア(豪ドル) : 2.50%
- ・ニュージーランド(NZドル) : 3.50%
- ・南アフリカ(ランド) : 5.75%
- ・日本(円) : 0.10%
- ・アメリカ(ドル) : 0.25%
- ・欧州(ユーロ) : 0.05%
- ・イギリス(ポンド) : 0.50%
- ・カナダ(カナダドル) : 1.00%

上記の政策金利が高ければ高いほど
円を売って日々受け取れるスワップの金額は多くなります。

**そして、金利が高くなるほどに日本に数多くあるFX会社間でも
スワップに違いが発生しやすくなる傾向があるのです。**

上記の世界各国の金利例を確認すると南アランドの5.75%が高いのが分かりますが南アランドは一般的にスプレッドと呼ばれるコストが高いので、初めての方でも扱いやすいニュージーランドを例に解説させていただきます。

日本には、数多くあるFX会社が存在します。

A社というFX会社もあれば、B社というFX会社もあります。

もちろんA社もB社もC社でもNZドルに投資する事が可能です。

しかしFX会社によって設定しているスワップ金利は少しずつ違いがあります。

同じNZドルでもスワップ金利が高い会社もあれば、低い会社も存在するのです。

イメージとしては、三菱UFJ銀行とゆうちょ銀行の定期預金の金利が同じではないようにFXのスワップ金利もFX会社の特色によってそれぞれ若干の差があるのです。

そこでFX会社によってスワップ金利が違う原理を利用して、次のような両建て保有を行います。

■スワップ金利を**多く受け取れる**FX会社で高金利通貨を『**買い**』

■スワップ金利の**支払いが少ない**FX会社で高金利通貨を『**売り**』

今回はNZドルが例ですので・・・

■NZドルのスワップ金利を**多く受け取れる**FX会社でNZドルを『**買い**』

■NZドルのスワップ金利の**支払いが少ない**FX会社でNZドルを『**売り**』

上記のように、同じ通貨であるNZドルの「買い」と「売り」を2つの異なるFX会社に別々に分けて両建て保有を行います。

同じ通貨を両建てする事によって仮にNZドルの相場が大きく円安に推移した場合でも『売り』のFX会社は大きなマイナスになりますが、『買い』のFX会社は同じ金額だけプラスになります。

円高円安の為替リスクは99%以上なくなるのです！

(100%ではない理由は、後述)

この同じ通貨を両建てしている状態は、株式において異なる2銘柄の両建てとはリスクヘッジとは全くレベルが違います！

【通常の異銘柄の株式サヤ取り】

A会社で買い銘柄: **三菱UFJ銀行**

A会社で売り銘柄: **みずほ銀行**

【FX金利裁定のイメージ】

A会社で買い銘柄: **三菱UFJ銀行**

B会社で売り銘柄: **三菱UFJ銀行**

株式サヤ取りで例えるならば、上記のように全く同じ銘柄で証券会社を分けて買いと売りの両建てしているようなイメージです。

仮に株式投資の場合、上記のような形で同一銘柄を両建て保有すると価格変動リスクはなくなりますが手数料によって日々確実に負けていきます。

FXでも同一の会社で行えば、同じ事が言えるのですが・・・

買いで受け取れるスワップは、トップクラスの会社で受け取り続けて
売りで支払うスワップは、トップクラスの会社で小額支払う事によって
スワップ金利の差が足し引きしてプラスになる2社が存在するのです！

両建て保有している期間スワップ金利の差額が、日々、収益として入り続けます。

■金利裁定取引が出来る証券会社

NZドルのスワップ金利を**多く受け取れる**FX会社でNZドルを『**買い**』
NZドルのスワップ金利の**支払いが少ない**FX会社でNZドルを『**売り**』

上記のように別々に会社を分けて同じNZドルを両建て保有して
2社のスワップの差額を日々受け取るのがFX金利裁定取引です！

スワップの金額は、日々少し変わりますが、2014年9月時点において
NZドルの両建てでスワップ金利の差がプラスになる2社は下記の通りです。

NZドルを『**買う**』FX会社 **ライブスター証券**

<http://investars.jp/about/livestar.html>

NZドルを『**売る**』FX会社 **DMM.com証券**

<http://investars.jp/about/dmm.html>

【2014年9月29日時点の2社のNZドルスワップ金利】

◎買いを行うライブスター証券のNZドルのスワップ金利＝94円

◎売りを行うDMM.com証券のNZドルのスワップ金利＝－60円

◎差額＝94円－60円＝34円（一日で利益となるスワップ金利差）

上記のFX会社2社で1万NZドルの両建てを行うと・・・

毎日34円分のスワップ金利を差額として受け取り続けることができます。

ライブスター証券のスワップ画像

2014年09月29日適用のスワップポイント (単位/円)

通貨ペア	売り Swap	買い Swap	通貨ペア	売り Swap	買い Swap
米ドル/円	-12	10	ユーロ/円	-9	6
英ポンド/円	-39	36	豪ドル/円	-77	74
NZドル/円	-96	94	カナダドル/円	-39	37
スイスフラン/円	-8	5	豪ドル/スイスフラン	-95	85

DMM.com証券のスワップ画像

ドル/円 ユーロ/円 ポンド/円 豪ドル/円	NZドル/円 スイスフラン/円 カナダドル/円 南アランド/円	ユーロ/ドル ポンド/ドル 豪ドル/ドル NZドル/ドル	ドル/スイスフラン ドル/カナダドル ユーロ/ポンド ユーロ/豪ドル	ユーロ/NZドル ユーロ/スイスフラン ポンド/豪ドル ポンド/スイスフラン
---------------------------------	--	---------------------------------------	---	---

発生日	付与日数	NZドル/円
09/29(月)	買	60
	売	-60

上記の画像は、各社のホームページから直近のスワップ金額の画像を載せさせていただきました。

ご自身でも下記の会社ページにアクセスいただければ、最新のスワップ状況を確認する事が可能です。

このスワップの合計がプラスである限り、この手法の優位性は変わりません！

【ライブスター証券スワップ確認ページ】

<http://www.live-sec.co.jp/fx/swap/>

【DMM.com証券スワップ確認ページ】

<http://fx.dmm.com/fx/service/swapcalendar/>

■金利裁定取引の利回り計算

ライブスター証券1日に受け取れるスワップ:94円

DMM.com証券1日に支払うスワップ:60円

$$94円 - 60円 = 34円$$

1日で足し引きプラスで受け取れるスワップは34円です。

この34円を年利に換算すると、どの程度の利回りになるか計算してみます。

1日に34円の利益ですので年間365日では、12,410円のスワップ利益です！

NZドルを一万通貨投資するに必要な投資資金は4万円も必要ありません。

2社に分けて買いと売りで投資するので4万円×2社の8万円で投資可能です。

8万円の投資資金で年間12,410円の利益が期待出来ます。

よって…

$$12,410円 \div 80,000円 \times 100 = 15.5\% (\text{年利})$$

2社に分けて両建て保有するだけで**15.5%**の年利が期待出来ます。

しかしここから実際に行うとスプレッドと呼ばれる売買手数料が発生します。

あまりにもギリギリの証拠金では、為替レートが大きく動いた場合に強制的に決済されてしまうリスクがございます。

よって実際は、もう少し余裕を持って資金を入れておく事をお勧めします。

現実的な運用を考えた場合は、**年間10%前後**の利回りイメージください。

■金利裁定取引の仕掛け

この手法を行うにあたって最初に気をつけるべき点は
買いと売りの証券会社を間違わないようご注意ください。

NZドルを**買う** FX 会社

<http://investars.jp/about/livestar.html>

NZドル**売る** FX 会社

<http://investars.jp/about/dmm.html>

ここの売買区分だけ間違わなければ、
FX 取引が初めての方でも損する可能性は、ほぼ無くなります。

上記のように異なる証券会社 2 社で同じ NZドル通貨を両建てさせた後は
ひたすらに長期的に大切に両建て保有し続けるのみです。

長く保有すればするほどに毎日少しずつスワップの差額が貯まっていきます。

このFXの仕組みを利用したFX金利裁定取引の手法は、**個人投資家の誰でも上手い
下手がなく再現性が高く比較的簡単で安全性の高い資金で投資いただくには、最高
の投資手法であると私は考えております。**

これから先は、この手法のリスクと注意点説明させていただきます。

少なからずリスクもございますのでしっかりと最後までお読みください。

■金利裁定取引のリスク

この FX 金利裁定取引における最大のリスクの説明をさせていただきます。

この手法の一番大きなリスクは、**急激な為替変動**です！

正しくは、**急激な為替変動かつ為替が元の水準にすぐ戻ること！**

より詳しい解説をさせていただきます。

この手法は、同じ通貨を両建てしているので
為替が円高になろうが円安になろうが全く損益には影響しません。

毎日毎日少しずつ円高に推移する事は全く問題ありません。

この手法の一番のリスクは、瞬間最大風速的に大きく為替が変動するケースです！

そのように為替が大きく短時間で変動した場合
この手法は、同じ証券会社で両建てを行っていないために
片方の FX 会社は瞬間的に大きな評価損失の状態になります。

実際、もう一方は、同じ金額評価益なので問題ないのですが、FX 会社ではどこの会社も共通して**預け入れている証拠金が一定の評価損失を下回った場合に保有しているポジションを自動で強制的に決済してしまう措置が行われます。**

この機能は、片張り投資を行っている場合には、ありがたい救済措置機能ですが
FX 金利裁定取引においては、非常に邪魔な機能です。

為替が瞬間的に大きく円高に振れた例で解説すると・・・

NZドルを売っている DMM.com 証券は大きな利益になります。
しかしライブスター証券で買っている NZドルは同じ金額が損失になるのです。

そしてライブスター証券が一定の証拠金を下回って強制的に決済されたとしましょう。

そうなってしまうと DMM.com 証券の片張り NZドル売りの状態になります。

早いタイミングで投資家自身がその事態に気付けば問題はありません。

むしろ為替がまだ円高に推移するようであれば利益が増えるのでラッキーです。

DMM.com 証券の片張り NZドル売りは利益になります。

最悪なのは・・・

急激な為替変動かつ

一方の証券会社が強制決済される

そしてすぐに為替が元の水準にすぐ戻る！

万が一、上記のような事態が発生した場合は、
コツコツ貯めたスワップの差額利益が1瞬で消滅してしまいます。

少し為替について分かる方の場合、上記のような最悪の事態が発生するなんて非常に低い確率であると思う事でしょう。

私の意見も、このような事態が発生したからといって運用資金がゼロやマイナスになる事も考えにくいのでメリットの方が大きいと考えております。

しかし・・・

このリスクをお伝えする理由ですがこのような最悪の事態は、
FX会社がお客を裏切る事によって意図的に発生させる事が可能であるからです。

通称よく呼ばれる「**ストップ狩り**」と呼ばれる現象です。

FX会社は、一瞬だけ瞬間的に実際の為替レートとは異なった値をつけて投資している投資家のポジションを強制決済させるという悪行を数年前まで行っておりました。

FX会社が提示している為替レートは、株価とは違って世界共通しておりません。

各社が独自に提示している為替レートですのでこのような行為が可能になります。

しかし最近は、「ストップ狩り」のような酷い行為は、チャート上に不自然な証拠が残るため、もしFX会社が行えば顧客の信用はガタ落ちとなります。

そしてこのような悪徳FX会社が行うストップ狩りを逆手に利用して他社複数のFX会社の通貨平均レートを元にして瞬間的に大きく乖離したFX会社があれば、一瞬でサヤ取りを機械的に行うシステムも登場してきました。

FX会社が自社の為替レートを改ざんすれば結果的にそのFX会社が損します。

結果、自身の首を絞める行為となりますので
現在ではストップ狩りを行う会社はほとんどありません。

今回ご紹介する2社は、日本の大手FX会社です。

そのような悪徳な行為は行うとは思えませんがFX会社の裏切りとも言える「ストップ狩り」をやられてしまうと、最大のリスクとなる事をご理解くださいませ。

■金利裁定取引の注意点

ここからリスクとは別にして金利裁定取引を
長期的に行うための注意点を説明させていただきます。

【注意点 1】 強制決済されないように気をつける

**為替レートが大きく動き、片方の FX 会社の損失が膨らみ
保有している通貨が強制的に決済されないように気をつけてください！**

極論言えば、注意点はこの 1 つだけとも言えます！

両建て状態さえ維持できれば、この手法は大丈夫です。

そのためにマイナスになっている FX 口座に意識を向けておく必要があります。

そして為替が一方向に推移してマイナスの評価損金額が
大きくなってきたらその FX 会社に追加で資金を投入する必要があります。

よって両建て売買を行った後、2 社間で資金を
入出金移動させる継続的なメンテナンスが必要となります。

一度、両建てさせたらずっとほったらかしでいいのですが
為替の水準が変動すれば資金の移動は必ず行ってください。

利益が出ている FX 会社の資金を**ネット銀行**に出金手続きを行い
一度ネット銀行に資金をプールして損失側の FX 口座に入金するのです。

ネット銀行は、2 社のハブ的な役割となります。

保有期間中は、資金が行ったり来たりする事が予想されます。

入金の度にコンビニの ATM から入金するような面倒な事は行ってはいけません。

そんな面倒な事を行ってはいは、長く継続する事は出来ないからです。

都市銀行でもネット専業でも結構ですのでネット銀行をお持ちください。

いざとなればスマホから一瞬で入金できるようにしておくといいでしょう。

お勧めのネット銀行

<http://investars.jp/about/rakutenbank.html>

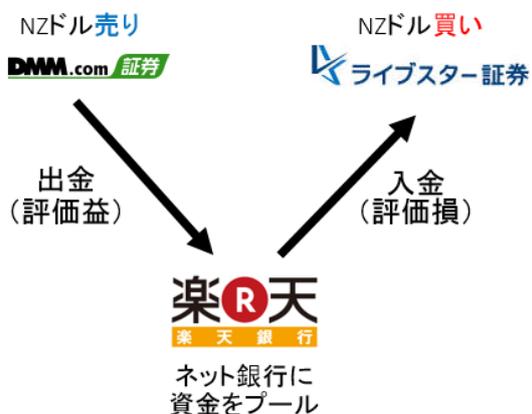
**FX 会社からネット銀行への出金は、翌営業です。
より安全性を考えてネット銀行口座に多少のお金を残しておくのがお勧めです。**

多少利回りは下がりますが強制決済されるよりはマシと言えます。

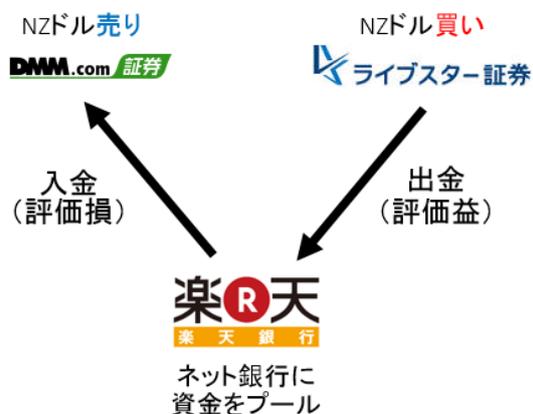
ネット銀行をハブとして 2 社の FX 口座で資金を行ったり来たりさせるイメージです。

【イメージ図】

【為替が円高に推移した場合】



【為替が円安に推移した場合】



為替レートの変動において1日で動く平均の値動き幅は、通貨によって異なります。

NZドルの場合は、平均の値動き幅は±1円前後です。

つまり1日で2円動けば大きな変動と言えます。

この手法は、特別毎日何か時間がかかる手間は発生しません。

しかし日々の為替の値動き程度は、確認し
投資している通貨数から証拠金の残高を意識しておいてください。

少ない資金でネット銀行をハブとして入出金のメンテナンス作業を頻繁に行うほど、この手法の利回りを高める事が可能です。

FX会社とネット銀行間は、送金手数料はかかりません。

出来るだけ高レバレッジでの両建てをお勧めしておりますが
急激な為替の変動は、ある日突然やってきます。

急激に変動して、強制決済された後もそのままその方向に推移すれば
結果的にラッキーですが、基本の趣旨とは全く違う運による利益です。

このFX金利裁定取引においては、損失側のFX口座が強制決済されてしまった時点で仮に運よく儲かっている場合でも失敗というくらいの考え方で取引を行ってください。

「強制決済によって片張りの状態にならないように注意する」

極論、この手法で注意する点は、これだけです！

【注意点 2】 政策金利およびスワップは、日々変動する

国が定めている政策金利は、国の景気状況に応じて変動します。

日本は、ずっとゼロ金利政策なのでイメージ出来ませんが海外では、翌日に金利が 0.25% 上下する事は珍しくありません。

よって今後、NZドルの金利が変動する事によって2社間のスワップ金利差が解消してしまう可能性も存在します。

これまでの傾向としては、政策金利が利上げされると2社間の金利は、より大きくなって優位性が高まりますが利下げによって金利が低くなると2社間の金利の差額は小さくなりうま味は薄れてしまいます。

現在、2014年9月末時点でNZドルの両者買いスワップと売りスワップの差がプラスになっているためにこの手法は、有効に使えます。

しかし今後、金利が変動して2社のスワップの差がなくなってしまった場合には、この手法は意味をなしません。

さらに、FX会社のスワップ金利も日々、微妙に変動します。

日によっては、買いスワップ金利と売りスワップ金利の差がマイナスになってしまう日もあるかもしれません。

1日2日程度のマイナスであったとしても1カ月通して合計したスワップの差額が、プラスの状態であれば問題はありません。

確認のためにも週1回程度は、スワップの合計がプラスになっているか口座にログインしてご確認していただく事をお勧めしております。

【注意点 3】 両建て完了後は、マイナスからスタート

NZドルを各社で両建て完了させた後は、FX 会社に支払う手数料(スプレッド)が発生するために基本的に 2 社の損益の合計は、マイナスからスタートします。

仕掛けのタイミングは、株式のように寄り付きなどではなく口座に入金完了後 2 社にログインいただき成り行きで買いと売りの注文を出してください。

2 社に分けて注文しますが手間取ったとしても
1 分程度しか為替のズレは発生しないと思います。

1 分以内のズレによって運が良ければ、利益になる可能性もございますが基本的にスプレッドという手数料が発生しますのでマイナスからスタートするのが通常です。

心配する必要はなく、この手数料分含めて時間の経過と共に徐々にスワップの差額で埋まっていきます。

投資する数量やタイミングのズレにもよりますが
NZドルの場合 1~2 ヶ月保有すれば元を取り戻す事が出来るでしょう。

【注意点 4】 2 社の為替レートは、共通ではない

この手法のリスクでも解説しましたがFX会社が提示している為替レートは、インターバンク直結ではなくそのFX会社が独自に提示している為替レートです。

**よって同じ通貨に投資を行っていても99%以上
同じ値動きしますが一時的に為替レートが一致しない可能性があります。**

今日は、2社合計の評価損益が1万円になっていたとしても
翌日には、利益が減っている事も十分に考えられます。

このFX金利裁定取引では、為替の差損益は特別確認する必要はありません。

2社のスワップ合計収益だけが重要とお考えください！

このスワップの合計がプラスで日々増加していくようであれば時間の経過とともにスワップが入り続けるので、いずれ必ずプラスに転換します。

FX金利裁定取引に関する主な注意点は以上です。

注意点を守り、日々為替の上下を意識して資金をこまめに移動してメンテナンスを行えば**時間の経過と比例して安定して利益が積み重なるので精神的に非常に落ち着いて投資が出来ます。**

私が考える投資の素晴らしい点は、利益に対して上限**がない事です！**

年間10%程度利益が期待出来るこの手法は、運用資金100万円の場合は、10万円程度の情報価値だと思います。

しかし運用資金が1000万円ある方の場合、100万円の情報価値になります。

実際に私の知り合いでこの手法を使い多額の資金で投資している方もいます。

その場合、絶対に強制決済されてはいけけないのでレバレッジを制限して利回りを下げているですが、スワップ差益のみで生活出来るくらいの収入になっている事でしょう。

実際は、利益確定しないので収入にはなっていないはずですが、大変喜んでいただいております。

賢いお金持ちは、ますますお金持ちになるのです！

■金利裁定取引の決済タイミング

FX金利裁定取引の決済のタイミングについて解説します。

まず利益確定ですが金利差が発生して優位性が保たれている間においては、**基本的に利益確定のタイミングはございません。**

例外的に年末に確定申告を意識して調整でわざと帳尻を合わせる事はあったとしても急遽資金が必要な場合を除いて基本、一度両建てすれば優位性が続く限りは、決済せずに長く大切に保有し続けてください。

むしろ優位性を確信すれば定期預金を解約してでも証拠金を増やすべきだと私は考えます。

「沢山スワップが貯まって儲かってきたのでここらへんで一旦決済してお金使おう！」

上記のような発想でせつかく1~2ヶ月間貯めて手数料分を抜いて積み上げた両建てポジションをわざわざ崩すようなバカな投資家になってはいけません！

この手法に満足している場合は、決済せずに大切に保有してずっと積み重ね続けるのが一番賢い投資家です。

この手法において私がお勧めする決済するタイミングは以下の通りです。

- ・**2社間の金利差が無くなる(必ず決済すべき)**
- ・どうしても急遽お金が必要になってしまう
- ・投資を引退して一生取引しない
- ・もっと良い投資案件を見つける

■2014年9月の実例

よりFX金利裁定取引をイメージしていただくため
2014年9月の2社のスワップを表にしてまとめてみました。

弊社でエクセルにて作成した表ですので
確認方法についてご説明させていただきます。

【NZドル2社スワップ比較表】

2014年9月	NZドル/円 DMM売り	NZドル/円 ライブスター買い	1万通貨の スワップ差額	10万通貨の両建て (投資金額約100万円)	50万通貨の両建て (投資金額約500万円)	100万通貨の両建て (投資金額約1000万円)
09/01(月)	-55	252	197	1970	9850	19700
09/02(火)	-55	84	29	290	1450	2900
09/03(水)	-55	81	26	260	1300	2600
09/04(木)	-165	81	-84	-840	-4200	-8400
09/05(金)	-55	78	23	230	1150	2300
09/06(土)	0	0	0	0	0	0
09/07(日)	0	0	0	0	0	0
09/08(月)	-55	231	176	1760	8800	17600
09/09(火)	-55	86	31	310	1550	3100
09/10(水)	-55	86	31	310	1550	3100
09/11(木)	-220	86	-134	-1340	-6700	-13400
09/12(金)	-55	97	42	420	2100	4200
09/13(土)	0	0	0	0	0	0
09/14(日)	0	0	0	0	0	0
09/15(月)	0	258	258	2580	12900	25800
09/16(火)	-55	86	31	310	1550	3100
09/17(水)	-55	86	31	310	1550	3100
09/18(木)	-165	89	-76	-760	-3800	-7600
09/19(金)	-110	91	-19	-190	-950	-1900
09/20(土)	0	0	0	0	0	0
09/21(日)	0	0	0	0	0	0
09/22(月)	-60	279	219	2190	10950	21900
09/23(火)	0	93	93	930	4650	9300
09/24(水)	-60	93	33	330	1650	3300
09/25(木)	-180	93	-87	-870	-4350	-8700
09/26(金)	-60	95	35	350	1750	3500
09/27(土)	0	0	0	0	0	0
09/28(日)	0	0	0	0	0	0
09/29(月)	-60	282	222	2220	11100	22200
09/30(火)	-60	88	28	280	1400	2800
合計金額	-1690	2795	1105	11050	55250	110500

ご注目いただきたいのは表のオレンジの部分です。

この部分が2社の日々のスワップの差額になります。

この数値がプラスになっている限りこの手法に優位性があるとお考えください。

9月4日や9月11日などマイナスになる日もありますが
2社のスワップ差額は基本的にプラスになっているのがお分かりになるでしょう。

そして1ヶ月の合計差額が+1,105円です。

2社に1万通貨ずつ両建て保有しておくだけで
1ヶ月で1,105円の利益になった事を意味します。

NZドルに1万通貨投資するには4万円程度の証拠金で投資可能です。

NZドルを買うライブスター証券に4万円
NZドルを売るDMM.com証券に4万円
ハブ役として資金送金を行うネット銀行に2万円

合計10万円もあれば、1万通貨の両建ては可能となります。

1ヶ月1,105円の利益ですので12ヶ月で13,260円の利益です。

$1,105 \text{円} \times 12 \text{ヶ月} = 13,260 \text{円}$

10万円の投資資金で年間13,260円の利益と考えた場合
年間の利回りに換算すると**13.26%**になります！

実際には、初回にスプレッドと呼ばれる取引コストも発生しますので
年利**10%前後**をイメージしていただくより近い数字になるでしょう。

【1ヶ月のスワップ利益のイメージ】

10万円の運用資金で10万通貨投資した場合 1,105円
100万円の運用資金で10万通貨投資した場合 11,050円
500万円の運用資金で50万通貨投資した場合 55,250円
1000万円の運用資金10万通貨投資した場合 110,500円
3000万円の運用資金300万通貨投資した場合 331,500円

投資は、投資金額に上限がありませんので
ご自身の金融資産の状況に応じて取引を行ってください。

3000万円程度の余裕資金があれば毎月の33万円の収入になります。

投資収益だけでの生活出来る状態が視野に入ってきますね。

同時に仕事も行っていれば安定した収入も入ります。

毎月安定した収入が入ってくるという安心感があると別資金でリターンを狙った
多少のリスクある投資を行ったとしても精神的なストレスが全く違います。

「安定的に増やす投資」と「積極的にリスクを取る投資」がありますが
今回の場合は安定的に増やす投資をお考えください。

なおNZドルの他に同時期2014年9月分の
高金利通貨の豪ドルと南アランドのスワップ比較表も作成しました。

ご参考にさせていただければ幸いです。

【豪ドル2社スワップ比較表】

2014年9月	豪ドル/円 DMM売り	豪ドル/円 ライブスター買い	1万通貨の スワップ差額	10万通貨の両建て (投資金額約100万円)	50万通貨の両建て (投資金額約500万円)	100万通貨の両建て (投資金額約1000万円)
09/01(月)	-60	231	171	1710	8550	17100
09/02(火)	-60	77	17	170	850	1700
09/03(水)	-70	73	3	30	150	300
09/04(木)	-210	73	-137	-1370	-6850	-13700
09/05(金)	-70	69	-1	-10	-50	-100
09/06(土)	0	0	0	0	0	0
09/07(日)	0	0	0	0	0	0
09/08(月)	-75	189	114	1140	5700	11400
09/09(火)	-75	72	-3	-30	-150	-300
09/10(水)	-75	75	0	0	0	0
09/11(木)	-300	75	-225	-2250	-11250	-22500
09/12(金)	-65	80	15	150	750	1500
09/13(土)	0	0	0	0	0	0
09/14(日)	0	0	0	0	0	0
09/15(月)	0	225	225	2250	11250	22500
09/16(火)	-65	75	10	100	500	1000
09/17(水)	-65	75	10	100	500	1000
09/18(木)	-195	75	-120	-1200	-6000	-12000
09/19(金)	-130	75	-55	-550	-2750	-5500
09/20(土)	0	0	0	0	0	0
09/21(日)	0	0	0	0	0	0
09/22(月)	-65	225	160	1600	8000	16000
09/23(火)	0	75	75	750	3750	7500
09/24(水)	-65	75	10	100	500	1000
09/25(木)	-195	74	-121	-1210	-6050	-12100
09/26(金)	-65	74	9	90	450	900
09/27(土)	0	0	0	0	0	0
09/28(日)	0	0	0	0	0	0
09/29(月)	-65	222	157	1570	7850	15700
09/30(火)	-65	74	9	90	450	900
合計金額	-2035	2358	323	3230	16150	32300

NZドルに比べて1ヶ月のスワップ差額が+323円です。

よって豪ドルでもこの手法の優位性がありますが
現状は、NZドルの方が豪ドルに比べて差が大きいのでお勧めしません。

将来的にまた状況が変わる可能性はありますが現状 NZドルで両建てしましょう。

【南アランド2社スワップ比較表】

2014年9月	南アランド/円 DMM.売り	南アランド/円 ライブスター買い	10万通貨の スワップ差額	100万通貨の両建て (投資金額約100万円)	500万通貨の両建て (投資金額約500万円)	1000万通貨の両建て (投資金額約1000万円)
09/01(月)	-100	450	350	3500	17500	35000
09/02(火)	-100	150	50	500	2500	5000
09/03(水)	-100	140	40	400	2000	4000
09/04(木)	-300	140	-160	-1600	-8000	-16000
09/05(金)	-100	140	40	400	2000	4000
09/06(土)	0	0	0	0	0	0
09/07(日)	0	0	0	0	0	0
09/08(月)	-100	420	320	3200	16000	32000
09/09(火)	-100	140	40	400	2000	4000
09/10(水)	-100	130	30	300	1500	3000
09/11(木)	-400	130	-270	-2700	-13500	-27000
09/12(金)	-90	130	40	400	2000	4000
09/13(土)	0	0	0	0	0	0
09/14(日)	0	0	0	0	0	0
09/15(月)	0	390	390	3900	19500	39000
09/16(火)	-90	140	50	500	2500	5000
09/17(水)	-90	140	50	500	2500	5000
09/18(木)	-270	140	-130	-1300	-6500	-13000
09/19(金)	-270	140	-130	-1300	-6500	-13000
09/20(土)	0	0	0	0	0	0
09/21(日)	0	0	0	0	0	0
09/22(月)	0	420	420	4200	21000	42000
09/23(火)	-90	140	50	500	2500	5000
09/24(水)	0	140	140	1400	7000	14000
09/25(木)	-270	140	-130	-1300	-6500	-13000
09/26(金)	-90	140	50	500	2500	5000
09/27(土)	0	0	0	0	0	0
09/28(日)	0	0	0	0	0	0
09/29(月)	-90	420	330	3300	16500	33000
09/30(火)	-90	150	60	600	3000	6000
合計金額	-2840	4470	1630	16300	81500	163000

南アランドの一ヶ月のスワップ差額は+1630円
NZドルの1,105円よりも大きくなっております。

よって長期的にこの手法を行うのであれば南アランドも非常に有利です。

注意点としては、南アランドは他の通貨に比べて
スプレッド(手数料)が非常に高いので必ず長期的な両建てを行ってください。

■金利裁定取引の実践

FX 金利裁定取引についての解説は以上となります。

内容についてご理解いただけましたでしょうか？

FXIについて初めての方には、少し難しい内容かもしれませんが
FX経験がある方からすれば、内容自体さほど難しくありません。

FX経験者で初めて知った方は、目からウロコの新しい発見になった事でしょう。

これまでに私は、過去に何度か金融取引やビジネス含めて
今回のような2社間の価格の歪み(サヤ)を発見して儲けてきました。

しかしそのような裏技の多くは、継続して長く続かない事が多かったです。

株式の権利付き最終日に両建てして
株主優待をゲットする方法も似たようなイメージです。

これらの優位性が長く継続出来ない理由は、大きく3つあると考えています。

1つ目は、**情報が多くの人に知れわたってしまい
参加者が多くなりサヤが無くなるケースです。**

株主優待の両建ては、このケースに当てはまるでしょう。
最近では、逆日々がついてしまうのでうま味はありません。

2つ目は、**そのサヤが発生しているコストは誰かが負担している
負担している側の立場が不利な状況に気がついて対策を行うケース。**

3つ目は、**法律や税金など大きな制度変更によって出来なくなってしまうケースです。**

今回のFX金利裁定取引は、サヤが発生する構造やシステムのにも比較的誰も困らない仕組みが出来ているため手間の割に上限がないリターンが期待できて長く継続して優位性が保たれております。

しかし将来、高金利通貨の国が利下げを行う事もありますし日本が大きく利上げに踏み切る可能性もあるかもしれません。

2社間の金利差が無くなり優位性が無くなる可能性も十分にあります。

投資は、実際に行動してリスクを取った者だけにリターンが与えられます！

行動しない方、リスクを取らない方は、とても多いです。

私は、そのような方を非難するつもりはありません。

むしろそのような方々にいつも「ありがとう」と感謝しています。

なぜならばリスクを取って行動した者が勝ちやすいからです。

行動した事によってリスクが発生しますのでリスクとリターンのバランスが重要ですが今回、このレポートをお読みいただきこの手法が素晴らしいと感じた方は、ぜひ実践してください。

投資金額は、30万円もあれば十分に成果を実感する事が可能です。

そして仮に行動したとしてリスクで説明した最悪の事態が発生しても投資資金の丸々30万円が無くなる訳ではありません。

金銭的なリスクも特別多くの手間や時間がかかる訳でもありません。

以下、行動の手順を3段階にまとめました。本当に簡単です！

■金利裁定取引の行動

FX 金利裁定取引をスタートするにおいて行うべき事は以下の **3 つだけです**！

【行動1】 口座開設を行う

ライブスター証券(必須)「**レバレッジ25**」コースを選択

<http://investars.jp/about/livestar.html>

DMM.com証券(必須)

<http://investars.jp/about/dmm.html>

楽天銀行(ネットバンクであればどこでも可)

<http://investars.jp/about/rakutenbank.html>

【行動2】 FX口座に入金

ライブスター証券:15万円入金

DMM.com証券:15万円入金

【行動3】 NZドル3万通貨両建て

ライブスター証券:NZドル3万通貨買い

DMM.com証券:NZドル3万通貨売り

■最後に

今回ご紹介させていただきました FX 金利裁定取引の手法が良いか悪い判断は、このレポートをお読みいただいた投資家の運用方針や考え方、投資資金力、投資レベルによって違います。

よってお客様ご自身の考えを尊重して投資を行ってください。

私自身は、とても良い両建て売買を活用した運用手法であると感じております。

投資は、儲かる時もあれば損する時もあり波があるものです。

株式投資が攻めの投資であれば
今回ご紹介した手法は守りの投資と言えるでしょう。

時間の経過と連動して利益が積みあがっていくのは、
精神的にキツイ投資において心穏やかに継続する事が出来ると思います。

最終的な投資のご決断はお客様ご自身にはなりますが、リスクを受け止めてコントロールする事によってご自身の運用方針に合う投資を行ってください。

なお今回の FX 金利裁定取引の手法は基本編です。

高機能版サヤトレ会員のお客様には、会員限定メルマガ「サヤ取り通信」にてこの FX 金利裁定取引の上級編をお伝えさせていただきました。

今後もサヤトレ会員様に喜んでいただけるように情報をお届けさせていただきます。

皆様の投資が上手くいく事を心からお祈りしております。

■高機能版サヤトレお申込みフォーム

⇒ <http://investars.jp/member/form-new.html>

■追記 お客様からいただいたご質問の回答

【質問】

2社の資金を移動する際に利益の出ている口座を必要資金分だけ決済しマイナス側へ投入するということでしょうか？

【回答】

私の書き方が悪かった事お詫びします。

この手法において基本的に片方のFX口座のみを決済する事はありません。

手元に全く資金がない場合は、儲かっている口座(DMM.com証券)を一時的に決済しなければならない可能性もありますがそれは最後の手段です。

詳しく説明すると今回紹介した2社はFX会社の社内の規定によって「出金可能額」の定義ルールが違います。

NZドルを買うライブスター証券ですが

こちらは、評価益とスワップが出金可能額に反映されます。

よって口座にて100万円の評価益があれば100万円が出金可能です。

資金を出し入れするケースが多いのでこちらのルールの方がありがたいといえます。

よって為替が円安方向に推移する場合は全く困りませんので積極的に評価益を出金してネット銀行にプールしておいてください。

ライブスター証券(NZドルを買い)

⇒ <http://investars.jp/about/livestar.html>

一方のDMM.com 証券の場合は評価益が出金可能額に反映されません。

仮に評価益が1億円あったとしても投資時の証拠金の余り以外は一度決済して利益確定を行わない限り出金出来ません。

こちらのルールの方が不利といえるでしょう。

為替が円安に推移した場合(ライブスターの利益)
評価益はいくらでも出金可能ですので問題はありません。

しかし大きく円高に推移してDMM.com 証券でこれ以上出金出来る残高もなくなってしまい手元に余裕資金がない場合のみDMM.com 証券を一瞬だけ利益確定して出金するための資金を作成ください。

そしてまたすぐに同じ数のNZドルを売ってください。

損益的には、ほとんど損しないのでご安心くださいませ。

無駄に手数料がかかる程度のお話です。

また1ヶ月もすれば一度利益確定して再度仕掛けた際の手数料は稼げる事でしょう。

DMM.com 証券(NZドルを売り)

⇒ <http://investars.jp/about/dmm.html>

【質問】

運用資金 300 万円あったとします。

1NZドル 100 円として、100 万円ずつを売買に使用し 200 万円。

レバレッジ 25 倍で 25 万 NZドルずつ購入。

残り 100 万円は強制決済リスク回避用として準備しておく。

スワップ利益 34 円／日 × 25=850 円

年間 850 円 × 365=310,250 円

この考え方は合っていますでしょうか。

【回答】

上記で基本的に合っています

100 万円あれば、NZドルを 25 万通貨投資可能です。

1 日約 850 円のスワップが受け取れるので

1 年間に換算すると 310,250 円です。

強制決済回避用として銀行口座に 100 万円もあるので

為替が動いても資金移動してメンテナンスを行えば大丈夫でしょう。

300 万円の資金で年間 31 万円の利益が期待出来るので

レポートでお伝えしたイメージ通り年利 10%になります。

**初めての方は、DMM 証券:ライブスター証券:ネット銀行の
資金比率は 1:1:1 くらいの資産配分がちょうどいいでしょう。**

毎日、口座状況を確認出来るのであれば銀行の置いてある 100 万円を 50 万円にして 5 万通貨増やして 30 万通貨の両建てにしても良いかもしれません。

しかし 1 円動くと 30 万円動くので頻繁に口座を確認しないと強制決済される可能性が高くなります。

【質問】

FX 両建ての利益確定タイミングに関して節税の観点で何か考えられませんか？

【回答】

少々複雑な話になりますが分かりやすくお伝え出来るように頑張ります。

まず、投資の基本的な概念としては1月～12月の間において出来るだけ利益を出さないというのがポイントです。

極端な例で説明しますが・・・

2014年の12月31日に利益額が1億円あったとします。

2014年の投資の税金は2000万円です。

この税金は2015年の3月の確定申告で支払います。

しかし年明け2015年に新しい気持ちに切り替えて投資したところ一撃で大損して2億円の損失を出してしまいました。

投資資金は底をついて相場から退場です。

しかし2014年には1億円の利益確定をしているので税金2000万円は支払わなければなりません。

手元に2000万円なんてお金ありませんがそれでもルール上、2000万円の税金は払わないとならないのです。

この事から言えるように投資の税金は出来るだけ
翌年に繰越しを行い、年間通しての損益を±0に近づける努力を行ってください。

よってもしこの FX 金利裁定取引以外にも
FX や先物取引を行っており 2014 年に利益が出ている場合
利益を翌年に繰り越すために、一旦両建てしている NZドルの
評価損失の口座にて決済して損益通算させる事が出来ます。

注意点として上記のテクニックは、投資の確定申告が
3 年前にマイナス評価を計上しているかによって状況が変わってきます。

個人の状況次第では逆に利益を確定させて
過去の損失と通算させた方が良いケースもあります。

そして出金可能額と同じように FX 会社のルールによっては
評価益で課税対象する会社と利益確定の決済で課税対象する
会社とルールに違いがありますのでお使いの証券会社を確認してください。

【質問】

資金 300 万円の際に増田さんならどう行うか？
振り分け方などアドバイスいただけますでしょうか？

【回答】

戦略のパターンとしては・・・
アクティブに入出金繰り返して利回りを数%高めるか？
ある程度ほったらかしで利回り 10%を狙うか？

2 パターンあると思います。

現状の私であれば、ほったらかしで年利 10%を狙います。

数学的思考からの考えですが・・・

レバレッジを高めて日々口座残高に気を使いリスクを抱えながら
入出金の手間を考慮した上で投資資金 300 万円において
最大 5%の違いは年間で 15 万円差です。

- ・強制決済のリスク
- ・為替変動による口座確認
- ・入出金の手間

15 万円は大金だと思いますが 1 年間という期間で
上記の手間やストレスを踏まえると少しリターンが見合わないと考えます。

他の質問の例と一緒にですが私であれば・・・

ライブスター買い 25 万通貨(100 万円入金)
DMM.com 売り 25 万通貨(100 万円入金)
楽天銀行に余裕資金(100 万円)

上記のようにこの手法は、ある程度ほったらかしの状態で
両建てを行い貴重な時間は使いません。

その間にまた他の投資に時間を使う事でしょう。

以上、運用の参考になれば幸いです。

■ サヤ取り投資ペア検索ツール 『サヤトレ』

<https://investars.jp/>

■ サヤ取り投資ペアランキングサイト 『サヤ取りランク』

<https://sayatori.net/>

■ サヤ取り投資と経済が分かるブログ

<http://sayatore.com/blog/>

■ サヤ取り投資クラブ SIGMA（提携アナリスト業務）

<http://www.get-okuman.com/index.html>

ディスクレームー及びリスク事項説明

投資判断の材料・情報提供を目的としたものであり投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の判断は自己責任にて行ってください。また、各種情報の内容については万全を期しておりますが、その内容・有益性を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当方および本情報提供者は一切の責任を負いかねますので御了承ください。

サヤトレ運営事務局

〒160-0022

東京都新宿区新宿 4-3-17 ダヴィンチ新宿ビル 6 階